

「みんなのつながり」はコロナ禍に負けない！

つながる通信

第 4 号

令和3年2月1日発行

発行：名寄市社会福祉協議会

名寄市西1条南12丁目
総合福祉センター内

TEL：01654-3-9862/FAX：01654-3-9949

共催：名寄市町内会連合会

名寄市民生委員児童委員連絡協議会

回 覧

新型コロナウイルス感染症の影響によりこれまでと同様の地域活動が思うように行えないなか、つながりを失うことなく、今後もみなさんにとって暮らしやすい地域をつくっていきけるよう、名寄市内外の取り組みを紹介した「つながる通信」を毎月発行します。

これからのみなさんの地域での活動にお役立ていただければ幸いです。

★名寄市内の活動紹介

西町3区町内会

西町3区町内会では他の町内会同様に、新型コロナウイルス感染症の影響により総会をはじめ、町内会で最も大きな行事である「町内会夏まつり」など様々な事業が中止になりました。

そのような中、感染防止策を十分に図ることができる公園整備などの野外での活動には例年よりも多くの協力があり、住民が町内会活動を求めていることや活動への理解が多くあることが分かりました。

毎週月曜日に町内の高齢者が会館に集まり、町内会活動で使用する封筒づくりを兼ねた交流をサロン活動として実施しており、この活動はコロナ禍においても継続をする声が多く、中止をした時期はあったものの、マスクの着用、手指消毒、換気などの感染防止対策を図りながら毎回14～5名が集まり継続をしてきました。

これらの活動から、町内での交流やつながりを求めている方が多くいることが分かり、形を変えながらもつながりを絶やさないことの大切さを感じました。

毎年12月には名寄社協が行う歳末地域支え合い事業として餅つきを行い参加者と雑煮などを食べて交流をしていましたが、今年度は飲食を避け、役員でついた餅を高齢者などにお届けしました。

その際に名寄社協から提供された「まごころマスク」と「こんにちはレター」も一緒にお届けし、コロナ禍でもつながりを絶やすことなく、また健康増進につなげていただけるよう取り組みました。

後日、受け取られた方から役員へ次のような手紙が届き、活動をしている役員も勇気づけられ、互いに支え合う町内会活動ができていることを実感しました。



餅つきの様子



餅つき後の集合写真

今後も食事や日用品と一緒に「まごころマスク」「こんにちはレター」の配布を継続し、町内のつながりを継続していきたいと思えます。

～～ 住民から届けられたお手紙 ～～
何十年かぶりにペンを取りました。
お届けいただいたマスク、子どもからのメッセージが嬉しく、コロナに負けないように頑張ります。

一緒にいただいたお餅も大変ありがとうございます。皆さんもよいお年を。

登別市社会福祉協議会

登別市内では、これまでの地域のつながりを活かして、コロナ禍においてもできることから取り組もうという住民の動きが生まれています。

【会えない時もつながり続けるために】

緊急事態宣言後、これまで行われていた町内会行事やサロン活動、サークル活動等は休止せざるを得ず、住民同士が集まり交流する機会が持てない中、手縫いのマスクを独居高齢者宅に届けたり、励ましの手紙をポストイングしたり、状況が少し落ち着いた頃には手作りのお菓子やおかずを届けるなど、多くの住民が工夫を凝らしながらできる方法で互いに想い合う姿がありました。

社協では、これまでの関係性を活かし地域がつながりを保ち続けることができるよう、「まごころお届けプロジェクト」(名寄社協が行うこんにちはレターと同じような仕組み)を企画しました。この取り組みは社協で毎月2回介護予防体操などを掲載したレターを発行し、町内会役員や民生委員・児童委員、サロン運営者などを通して地域で見守りが必要な高齢者へ配布し、間接的なつながりづくりを目指すものです。地域の活動者からは「何も持たずに行くより、気軽な訪問のきっかけとして役立っている」「毎回レターを持って訪問することを楽しみに待っている人が多くて嬉しい」との声が聞かれ、会えない間も交流の輪が広がっています。



レターを持って訪問した際のひとコマ

【今できる工夫で再開を目指して】

市内のサロン活動は時間短縮や席配置の工夫、こまめな換気など新しい生活様式を取り入れながら、工夫を凝らし徐々に再開しています。これまでと同じ形での実施は難しい中「せっかく集まっても何をして良いのかわからない」「感染予防に不安がある」との声を受け、社協ではこれからの地域福祉活動のヒントを紹介する「ふくし活動アイデア帳」を感染予防やレクリエーション紹介など内容を分け4冊発行しました。

レクリエーション編の発行にあたっては、サロン運営者に取材協力をもらい、コロナ禍でも行えそうな全12種のレクリエーションを掲載しています。掲載内容を参考に活動再開を検討したとの声も聞かれ、少しずつこれまで通りの地域活動を取り戻しています。



感染予防をしながら交流するサロンのひとコマ

距離が離れて心細い時こそ温かな心を近くに感じられるよう、できることを探しながら頑張っていきましょう！

今回ご紹介したコロナ禍に対応した登別社協の取り組みは、登別社協のホームページからもご覧いただけます。

<http://kizuna-shakyo.jp/chiiki/kizunawithcorona/>



「つながる通信」は名寄社協ホームページやSNSでも発信しています。
他にも様々な情報を発信していますので、ぜひご登録ください！！

ホームページ

